



朝学習、鉛筆を走らせる音がコツコツ。学校を感じる瞬間です。そんな子供の学習活動は授業で創られます。左は中3の国語の授業です。

新日本フィルの演奏を子供たちに



5月31日(火) 学校医の山口淑子先生からのご紹介で新日本フィルのビオラ奏者、吉鶴洋一さん、世川すみれさん、秀岡悠汰さんの3人が来校され、「新日本フィルミニミニコンサート」を開催し素敵な音楽を演奏していただきました。演奏曲は「G 線上のアリア」(バッハ)「メヌエット」(ベートーヴェン)「母の教えてくれた歌」(ドボルザーク)のクラシックから始まり、タンゴ「鮫」「となりのトロメドレー」「いつも何度でも」「パプリカ」、子供たちが知っている曲へと続き、最後は本校の校歌を演奏していただきました。曲の間には楽器の説明、音楽家の活躍、オーケストラの日常、ビオラ奏者としてのキャリア等について楽しくお話もしていただきました。最後、子供たちからの感想では、生のビオラ演奏を初めて聞いて感激したこと、コロナ禍で、音楽は部屋で聞くだけだったが、生で聴くことが出来て、演奏して下さった方に感謝している事等の感想が出されました。子供たちに貴重な時間を作ってく下さった山口先生、吉鶴さん、世川さん、秀岡さんありがとうございました。

情報メディア利用の仕方を学ぶ

5月30日(月)「スマホ教室」を行いました。ICT 教育の充実が昨今報道され、滝沢市でも子供たち一人一人にタブレットが配備され、学校の授業で活用し、私達教職員もその活用の仕方の研修を行っているところです。一方、子供たちはスマホ等情報メディアの活用は当たり前となっていますが、その利用の仕方は様々で、平日4時間以上という子もいるようです。今回は小学校高学年から中学生までが「気軽に投稿した動画で誹謗中傷を受けることがある危険性」「インターネットやSNSは日常生活や健康に支障をきたすほどのめりこむ可能性がある危険性」「インターネットで知り合った人を信用することの危険性」の3つについて学びました。途中グループごとに分かれて話し合いも行いました。どの子も真剣に考え、利用方法を見直す機会となったと思います。保護者対象の研修会を後日、実施したいと考えております。子供たちの健全育成のため、多数のご参加をお願いいたします。



体力向上取組 & 学力保障取組

本年度の学びフェストには上記2つを掲げております。体力向上取組として小学校の実践を、学力保障取組としての中学校の週末課題の取組を紹介します。小学校は「持久走」「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」をチ

チャレンジタイム(水曜朝学習)に取り組んでいます。15分間サーキット形式でグループ毎に運動をしています。また運動会後直ぐにマラソンの取組も始まりました。現在(6月3日)トップは6年櫻井七海さんの90周です。学力保障取組として中学校では週末、数学の課題を出し、同内容問題を週明け月曜日にテストをしています。課題に取り組めばできるテスト(報われるテスト)となっています。半数以上が平均9割を超えています。ご家庭でも励ましてあげてください。



中学校意見文取組

5月27日(金)中学校高橋桂先生による3年生国語科「論語の言葉から学ぶ～後輩に送る言葉～」の授業研究会を行いました。中学校国語では他の学年でも、意見文の学習を行っています。2年生は「あなたも清少納言～自分流枕草子を書こう～」1年生は「私の推し～情報を整理して分かりやすく説明をする～」学習を行いました。本校では、今年も意見文を書くこと、それを発表することに力を入れて取り組んでいます。1年生の意見文を紹介します。◎「僕の推し」僕の推しは、プロ野球選手の佐々木朗希だ。佐々木朗希とは、岩手県大船渡高校の出身のプロ野球選手だ。最速164キロの球を投げるすごい投手である。大船渡高校時代は岩手県大会決勝のマウンドに上がることができず、甲子園まであと一步のところまで悔しい思いをした。半年後、千葉ロッテマリーンズにドラフト1位指名され、プロに入団した。ロッテに入団して1年目、2年目は体作りに専念した。そして3年目の今年、新人の松川捕手とバッテリーを組み平成、令和を通して2人目の完全試合を成し遂げたのである。しかも、その試合では、連続奪三振の記録もぬり替えたのである。そして、今ではプロ野球が好きな人ならだれでも知っている球界を代表する選手になった。これからも佐々木朗希を応援していきたいと思う。

心を耕す取組

6月2日(木)小学校読み聞かせの取組として雫石の読み聞かせボランティアの「お話の雫」の皆さんが来校され、各教室で学年の発達段階に合った本の読み聞かせを行っていただきました。低



学年では読み聞かせの導入の時間に指を使ったお話をしていただき、子供たちもそのまねをしながら、徐々にお話の世界に入っていく様子が伝わってきました。「読書は心を耕す」と言われます。耳から聞こえた言葉は子供たち一人一人の想像へと変化し、子供たちに様々な思いを抱かせます。ご家庭でもそんな時間を設定してみてはいかがでしょうか。



人権教室&人権の花苗移植

6月3日低学年は人権教室を、高学年は人権の花苗の移植を行いました。市の人権擁護委員をお呼びして、低学年は紙芝居により、



人を思いやることの大切さを学びました。高学年は昼休み、やはり市の人権擁護委員の大峠さんをお招きし、昇降口付近の花壇にカリブラコア等を植えました。花を大切に育てるように周りの友達にも気を配ることが人権を守ることにつながることを教えていただきました。学校職員以外の皆さんによる特別の教科道徳の取組とすることができました。

